



校長室だより

令和4年9月22日

No.18

「今まで例のない大型」の台風14号というニュースにはさすがにのんきな校長も慌てましたが、市内やほんごう自体には大きな被害もなく胸をなでおろしました。毎年、この時期は台風がいくつか関東地方にも来てしまいますが、そのたびに臨時休校にするかどうか、けが人などはないか、学校施設は大丈夫か…気が休まらない時期です。

さて、みなさんご存知のようにほんごうは住宅街の中にありながら、自然環境にも恵まれ、四季折々の草花や風景に心癒される思いがします。この時期は夕焼けがとてもきれいで、以前は職員室前方の外階段に腰かけてしばし夕焼けを見ながら物思いにふけたものでした。自然豊かな環境で子どもたちがゆったり、のびのび学び、育っていくというのはこのほんごうの誇るべきところと思います。

それはいいと思うのですが、自然豊かということで虫も多いです。校長室にもいろいろな虫さんが訪ねてきます。放っておいていい虫さんがほとんどですが、ここのところハチの出没情報がいくつか出ています。畑やグラウンドの木の周りなどに見かけることはありますが、教室に飛び込んで来られたりすると困ります。先日は職員室にも飛んできたそうです。それもスズメバチということで、これはまず安全確保したうえで何とか駆除するか退散いただくかの手をとらないといけません。副校長先生から先生たちに指示が出されていますが、まず子どもたちの安全確保を第一に考えた行動をとっていきたいと思います。ある意味、不審者対応に近いですね。

実は、私は小学生のころスズメバチに刺され、しかもその後、高熱で数日間寝込んだという経験があります。ただでさえ恐怖の体験に加え、もう一度刺されたら死ぬと言われ（アナフィラキシーショックのことかなと思います）、それ以来、ハチが出てきたらためらわず逃げるということに決めています。もしくは全身を覆う衣服や帽子、マスクなどで完全装備したうえで駆除スプレーを全力で噴霧し続けるということにしています。そうまでして…とお思いの方もいらっしゃるでしょうが、目の前に大きなハチが飛んできたあの幼少期の恐怖体験は何十年経っても消えるものではありません…。

そんな私が十数年前、ほんごうで教務部長を務めていたころ、当時の副校長先生から「小1の教室でハチが出たんだって。行って（駆除して）きて。」と情け容赦ない命令が…。仕方なく、用務員さんに駆除スプレーを借りて小1の教室に。おそろおそろ教室を見回しましたがハチの姿はなく、もう退散していたようでした。でも、もしかしたらカーテンのかけから急に襲い掛かってくるかもしれないし、ここは徹底すべきと考えた私は教室中に「これでもくらす」と駆除スプレーを全力で噴霧。当然まるまる1本全部使い切って、怪獣退治の後のウルトラマンのように胸を張って教室を後にしました。もちろん、その後、教室に戻ってきた子どもたちと担任の先生たちから匂いとか衛生観念のなさとかで大ブーイングを受けることになったのですが…。



ただ今グラウンド遊具工事中